

インディアカを楽しみながら・・・

会長 神保 国男

いつまでも健康で、楽しく毎日を過ごすことは誰もが願うところです。インディアカはゲームとしても楽しく、仲間づくりにも大いに有効であります。埼玉県内のインディアカ愛好者は数万人といわれております。市町村の大会やPTAのスポーツ大会などでそれぞれがインディアカを楽しみ、いい汗を流しております。そうした人たちのうち約4500名が県協会に加入して、県大会、ブロック大会等に参加して、県協会の運営にご協力をいただいております。今年度は新たに大会を一つ増やし、二月に行なう予定にしております。

ところで、「自分だけインディアカを楽しめればいい、協会とか他人のことはどうでもいい」「自分たちは独自にインディアカを楽しむ」という意見を聞くことがあります。しかしスポーツにはルールがあります。ルールを決め、審判員を養成し、大会を行なうのは日本協会であり、県協会であり、市町村協会であります。これらが組織的に運営されて初めてインディアカが楽しめるのは言うまでもありません。本年は東西南北の各ブロックをより組織強化し、充実した大会を実行してゆきたいと考えております。そしてより多くの人に協会に加入していただきたいと思っております。スポーツの目指す最も大切なものは他人を思いやる心を育てることでもあります。

競技部 部長 坂口 進

今年度、最初の大会である春の大会（秩父市）が滞りなく終了し、7月～9月では、中央大会の予選を各ブロック共熱戦を繰り広げた事と思えます。さて、今年度は主催する大会が1つ増え、来年2月9日（日）冬期大会として行う事は、すでに会員の皆様方へご承知の事と思えます。まだ大会の内容につきましては、決定していませんが皆様が大いに楽しめ、満足がいく様に競技部員と共に頭をひねり、考え努力したいと思います。もう1つ3月8日（土）9日（日）幸手市において関東ブロック大会が決定しております。この大会につきましても競技方法その他検討に入りました。中央大会から関東ブロック大会まで4つの大会が残っております。

会員の皆様には、どうぞ都合の許す限り大会に参加し、大いに楽しみ、交流し、仲間をつくっていただく。又、大会の方法や、大会前のセレモニー等、皆様のアイデアがありましたら、ぜひアドバイスをお願い致します。

審判部 部長 須藤 和一郎

かねてより待望の指導審判員の研修を行なう事ができ本日に有意義な研修会となりました。指導審判員が一同に会し日頃望んでいたインディアカ指導の統一は基より各員の意思の疎通、考え方、行動の方向が定まったように強く感じた次第です。まだまだ問題点はありますが回を重ね充実を計ると共に今後は普及審判員の皆様のご協力を仰ぎ会員、愛好者の皆様にお役に立てる事を主眼に審判部として考えて参ります。

春季県大会（秩父市）フレンドシップ東京大会等続きましたが審判員の皆様の協力で盛大のうちに無事終了できました。心より感謝申し上げます。フレンドシップ東京大会では他県の審判員と一緒に参加致しましたが各県ごとの認識の違い、ルール解釈の違い等、審判統一のむずかしさを感じました。

今後審判部の課題として各ブロックの審判講習会に多くの方の参加を望み審判統一をはかりたいと思っております。

インディアカを楽しむために

理事長 宮田 紀栄

会員の皆さん“こんにちは” 楽しいインディアカに励んで居られるかと思えます。

健康の為に楽しい人生を過ごす為に頑張っていきましょう。さて日本インディアカ協会も法人化し、益々充実化されていきます。楽しい企画が数多く提出されてくる事でしょう。

私達埼玉県が全国一の規模となっている事は皆さんも御存知の事と思えます。各大会を観ますと若い方達がどんどん増えていきますと共に先輩の方々も活き活きプレーされています。これも皆さんの努力と熱心さの表れではないでしょうか！私もまだまだ現役でプレーをして楽しい想いもしていきたい、この想いは皆さんも一緒でしょう。その為にも皆さんの声が反映されなければいけません。反映させる為に次のブロック制度を実施（平成9年度より）しますので皆様のご協力をお願いします。そして末永くインディアカを楽しんでいきましょう。

※県下4ブロック組織の確立について※※※※※※※※※※

1. 埼玉県協会加盟団体を行政管轄に基づき、東・西・南・北の4つに分割する。
2. 各ブロックは県協会の下部組織として編成され県協会に準ずる。
3. 各ブロックは参加団体から役員を選出し、選出役員により組織化される。
4. 各ブロックは共にブロック長の選出に於いてはブロック内役員による選挙とする。
5. 各ブロックは共に一般会員の為の行事計画を行ない普及拡大事業を行なう。
6. 各ブロックの運営資金は各ブロック内で徴収して適切に運営する。
7. 各ブロック長はブロック内の意見、アイデア等をまとめる。
8. 県協会は常任理事と各ブロック長との会議を持ち、これをブロック長会議とする。
9. 未加入愛好者を加入させるべく、魅力ある団体を目指して、活動する。

新しい指導審判員誕生！ 次の方々がなられました。

浅野 都子（日高市）	先崎 正夫（三郷市）
北美 枝子（秩父市）	玉生 一美（吉川市）
栗原 一雄（坂戸市）	中村 正武（桶川市）
坂口 進（岩槻市）	矢尾 板 勲（入間市）
代田 幸子（大宮市）	柳田 憲夫（幸手市）

総務部 部長 江村 文男

県下4ブロック組織について県協会の理事会、常任理事会において承認され県協会の下部組織として活動することになりました。皆さんも会員として思いついたこと、大会等で感じたことなどを各市町村のブロック役員に、いつでも気軽に伝えてください。または総務部宛にお便りをお送り下さい。それが各ブロック、県協会の発展になるものと思っております。

平成8年4月1日

東部ブロック

幸手市	280
庄和町	115
宮代町	47
松伏町	69
白岡町	112
三郷市	133
久喜市	105
春日部市	80
加須市	70
岩槻市	247
吉川市	137
蓮田市	22

合計 1417名

西部ブロック

小川町	46
鶴ヶ島市	89
日高市	38
吉見町	29
都幾川村	106
飯能市	108
入間市	298
川越市	89
大井町	56
坂戸市	184
富士見市	127
川島町	180
東松山市	133
上福岡市	71
三芳町	37

合計 1591名

南部ブロック

桶川市	168
鳩ヶ谷市	50
戸田市	189
川口市	76
浦和市	90
大宮市	138
草加市	18

合計 729名

北部ブロック

本庄市	56
秩父市	85
吉田町	33
小鹿野町	111
両神村	7
皆野町	2

合計 294名

県協会会員総数 4031名

鳩ヶ谷インディアカ協会

小野寺 幸子

早いもので私達の協会が出来て5年になりました。5チーム80名位の人数で発足しました。

毎年チーム数、会員を増やそうと年3回開催している大会のうち1回だけはオープン参加とし、市の広報誌で募集をして開いているのですが参加チームが1~2チームだけ、すぐに登録会員とはいきません。そこで小、中学校の学校行事に取り入れていただくという案もありましたが、子供を持つ親も少なく、また各地域の自治会に呼びかけて自治大会とも考えたのですが、大勢の人数を集めて開くにもコートが4面しかとれませんので悩みはなかなか消えません。

悩みのなかなか消えない毎日ですが、会員の人達は日夜インディアカを楽しんでいる今日この頃です。

インディアカに想う

上里町

鈴木 洋子

私達のクラブは、県インディアカ協会の歴史と同じ15周年を迎えました。初めてインディアカを紹介されたのは市の主催した健康美教室という健康講座からでした。適度に身体を動かして「心身共にリフレッシュさせる」というのが教室の目的でしたが、インディアカはそれ以上にストレス解消の特効薬だと思います。毎週一回夜の練習ですが、継続は力なりといわれるようにメンバーの中には最高68才の人もいます。若い人の中に入って自分の健康は自分で守るをモットーに会員全員ともども元気で頑張っています。

本庄インディアカ協会の設立、県インディアカ協会への加入は他地域との交流の場が増え私達の喜びです。本庄には現在19チーム135名の人が協会に登録をしていますが、年間3回の大会にそなえて練習に一段と力が入ります。

最後になりましたが、県協会の益々の発展を御祈念申し上げます。

市から町からの活動報告

桶川市インディアカ連盟

事務局

大久保 孟

桶川市インディアカ連盟は本年4月創立10周年を迎える事が出来ました。これも偏に県協会皆様の暖かいご指導ご支援の賜ものと厚くお礼申し上げます。

わずか数名で初声を上げてから早や10年、現在のクラブ数8団体、会員数も150名に達しました。

楽しくなければインディアカではないと、厳しい練習の中にも笑い声が絶える事なく、各地域の学校や公民館で日夜練習に励んでいます。

連盟主催の市民大会は年2回、混合2部、女子6部まで4チームのリーグ戦方式で、勝てば上がり負ければ下がる入換戦なしの厳しくても、技術に合った大会を開いています。

市教育委員会主催の初心者教室や市民大会も開かれ、市民との交流も深めています。

これからも、生涯スポーツと競技スポーツとを充分に考慮しながら、念願の県民総合体育大会シニア女子三連覇を目標に頑張っていきたいと思っております。

小鹿野町インディアカ協会

茂木 富子

小鹿野町インディアカ協会発足15年になります。小さな輪がチーム数33、会員170名の大きな輪に広がり、もっと大きな輪にとほりきっております。

15年前、新井会長の一言で始まったスポーツがインディアカでした。私達主婦にとって夜に出来るスポーツという事で会員数も増え現在に至っています。

1年間の事業計画も会員の希望を取り入れ楽しく有意義な協会にと考えています。今年度は初めてシニアの大会を開きます。若い人達のチームとは違った楽しむ大会にしたいと思っております。

青山学院で開かれた大会優勝、県大会においても優秀な成績を残している協会です。

人生85年の時代、頭の回転を早め体力を保つこと、又各地域の人達との話題交換など楽しみながらがんばっています。

これからの目標は若いチームの成長、会員が楽しく体力作りが出来るよう、新井会長を中心に協会がますます発展するよう努力していきます。

庄和町インディアカ協会

庄和町

青木 和枝

大塚の庄和町です。今年協会設立10年目を迎えました。

加盟団体10クラブ、会員131名ですが協会未加入の愛好者が多く、町体育館では毎日どこかのクラブがゲームを楽しんでいます。協会として7月に会員のみのお親睦大会、12月の近隣市町交流大会、3月の県民総体コミュニティ部門でオープンにした大会、この3つの大会を年中行事としています。今年7月の大会は午前中をクラブ部選出のチーム対戦とし、午後はくじ引きによる混成チームを作り勝敗にこだわらない大会にし全チームに賞を出しました。12月の大会は第10回を数え、毎年10市町余からの参加を得て計50チーム程が楽しい大会を熱く盛りあげてくれます。3月の大会には愛好者チームが待っています。それぞれ味の違う大会です。又この様な中でも大規模な市のチームに負けじと闘志を燃やしている人達もいます。頼もしいかぎりです。

10周年記念行事を予定していますが内容はまだ各役員の胸の奥に秘められていますので楽しみです。

これからの希望として、男子会員が庄和の大塚の様に男壮に協会を引っ張ってくれる事を願っています。

◆編集後記◆

広報第2号を発行します。あの記事この記事を掲載しようと悩みつつ、まとまりのないものになってしまったような気がします。広報についての意見等がありましたら総務部までお寄せください。